

令和4年度第2回千葉県文化芸術推進懇談会（書面開催）

1 日時（意見書提出期間）

令和5年3月17日（金）～3月30日（木）

2 意見書の提出があった委員

草加 叔也 委員（座長）、石橋 拓也 委員（副座長）、植田 憲 委員、卯月 睦彦 委員、垣内 恵美子 委員、菊池 健策 委員、こまちだ たまお 委員、椎名 喜予 委員、椎名 誠 委員、辻 宣考 委員、布施 俊幸 委員
以上11名

3 議事の概要

(1) 令和5年度主な文化芸術振興事業について

事務局から資料を送付し、委員へ意見照会を行った。

・各委員からの意見・質問等

No.	施策の柱等	事業名	委員意見等	事務局回答
1	施策の柱1	障害者芸術文化活動支援センター事業	重要であると考えますが、具体的にどのようなことが行われているのかが理解できない。	資料に記載の【センターが実施する業務】のとおり。更に具体的な内容については、今年度障害者芸術文化活動支援センターが活動していく中で決まっていくところ。
2			障がい者芸術文化活動支援センターの設置は大切なことと思うが、先行事例では福祉系の団体が管理運営することが多く、芸術文化団体とのネットワークが課題と聞いている。福祉と文化の間できめ細かな連携を図っていただければ。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
3		アーティスト・フォローアップモデル事業	新進アーティストとは？支援内容もこの記述だけでは具体的内容が理解ができない。	39歳以下で先見性や斬新な発想を持ち、今後の活躍が期待できるアーティストを想定。人的支援や資金支援等を想定しているが、具体的な支援内容については、実態に合わせたものとしていくため、事業を実施していくなかで検討していくところ。
4			若手を育てることを目的としていることで39才以下と限定されているが、長きにわたり表現活動を継続させている40～50代以上のアーティストへのフォローアップ制度もあっても良いのではないかと考えた。表現の道を歩み続けているアーティストの信念と強さと何より継続によって培った卓越した技術ある表現に対し千葉県が背中を押すことでより地域に根付いた「文化」の構築が出来るのではと考える。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
5		千葉県文化会館大規模改修事業	予算としては改修費が突出している。③機能の充実は重要であるが、そもそも改修費を文化芸術振興事業に位置付けるのか。整理が必要ではないか。	御意見を参考に位置づけの整理を検討していく。

No.	施策の柱等	事業名	委員意見等	事務局回答
6	施策の柱1	千葉県文化会館大規模改修事業	大きな予算投入がなされる文化会館の大規模改修だが、エネルギー価格の高騰もあり、施設維持は今後困難が予想される。将来的に定期的な改修も必要となるため、文化会館の必要性が県民に理解されるような取り組みも強化していただきたい。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
7		中央博物館リニューアル事業	中央博物館リニューアル事業も、定期的な常設展の改訂も必要だと考える。一方、文化観光の拠点としての期待もあり、国も若干の助成を用意しているようなので、このあたりも視野に入れてはいかがか。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
8			③文化施設等の機能の充実に関連して先日、県立美術館の館長が新しく発表され、大変期待している。今後の美術館の展示物の充実を望む。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
9	施策の柱2		伝統文化(特に無形の伝統文化)の維持と継承は人を育てること、ひいては地域を守ることによってはかかれると思う。人や地域を守ることによって伝統文化の継承を図り、活力ある人々の暮らしと地域社会づくりを図るべき。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
10	施策の柱3	千葉県誕生150周年記念・オリエンタルランドとの連携事業	具体的にどのようなことをされるのか不明だが、ディズニーランドのコンテンツというだけでは、「新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり」としてふさわしいかどうかやや懸念がある。	施策の展開のうち、⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築にあたるとしてこちらに整理した。産業分野(オリエンタルランド)など他分野と連携することにより、文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会の創出ができるよう、事業を実施していく。
11		県立博物館・美術館と学校・地域との連携	予算が不明。	個別に予算立てしているのではなく、県立博物館・美術館の運営全般に係る予算(1,630,628千円)の中で行っているため、記載しなかった。
12	施策の柱4	学校における芸術鑑賞事業	「文化水準と教育レベルは比例する」とも言えることから、本物の芸術のすばらしさ、感動を味わえる機会を設けてはいかがか。学校での鑑賞会にとどまらず、地域の文化ホール等を活用することで、文字通り本物に触れることが可能である。学校規模が小さければ、何校か合同で実施するのも一考。	開催場所については、開催校の体育館または地域の文化施設を予定している。本県のプロオーケストラである千葉交響楽団が演奏することで、子どもたちが良質な音楽を生で鑑賞する機会の提供をしていきたい。

No.	施策の柱等	事業名	委員意見等	事務局回答
13	施策の柱 4	学校における芸術鑑賞事業	学校における芸術鑑賞事業は、こども庁が設置されるなど、国の動きもあり、助成金メニューも豊富にあるように思う（額は少ないが）。ぜひそういった財源も活用し充実を図っていただきたいと思う。	いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
14			大変有意義な事業と思われるが、出来ればコンサートだけでなく、可能であれば実際に楽器に触れる（または近くでどんな音が出るか体験できる）ことができると思う。合わせて、小さな時から本物の聞く経験をしてほしいので、小・中学校の比率を多くしてほしい。	取組内容としては、鑑賞だけではなく、楽器紹介や児童・生徒による指揮者体験等の実施を予定しているところ。比率については、御意見のあったとおり小・中学校を多く実施するよう予定している。
15		若者の文化芸術活動育成支援事業	助成額と選定団体数などが不明であるが、実施団体の評価を行うことが望ましい。単に事業を実施しただけでなく、評価することで次につながるものとする。	助成額は補助対象経費の2/3以内（限度額20万円） 選定団体数は年度により異なるが、令和4年度は6団体を選定している。 （参考：県HP） https://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/b-shinkou/shien/wakamono/2022/kanran.html 実施団体の評価については、いただいた御意見に留意しつつ今後の事業等を検討、実施していく。
16	施策の柱 5	千葉県誕生150周年記念事業	（1）県誕生150周年を期して、資金があれば、全国高校総合文化祭に高校生や部活動顧問を派遣し、意欲を喚起する契機としてはどうか。 （2）県民の日のイベントとして高校生の参加を募ることはいかがか。コロナが続き発表の機会が減ってしまった高校生に、発表の機会を提供できる。内容の一例として、マーチングパレード、合唱、書道パフォーマンス、絵画展、写真展など。 （3）県ゆかりのアーティストによる講演会を検討してはいかがか。会場の確保が難しければネット配信も考えられる。	（1）全国高等学校総合文化祭については、例年教育庁で担当しており、今年度についても御意見のあった件は既に予算措置されているようなので、高校生たちが本選に出場できるよう、先生方や関係者においてもサポートしていただきたい。 （2）150周年記念事業として実施する「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2023」オープニングアクトバンドオーディションでは、高校生に発表の機会を提供するため、高校生枠を設けている。また、地域振興事務所による県民の日行事や、市町村の取組（県の補助金を活用）において高校生をはじめとする学生による発表の場を予定しているイベントもある。 （3）オープニングイベントにおいて、県ゆかりのアーティストによるトークセッションを予定している。
17			150周年記念事業は、せっかくなので、レガシーが残るようにしてもらいたいと思う。イベントはどうしても一過性のものにとらえられがちだが、主要な事業は検証して今後につなげるといこともお考えいただければいかがか。	150周年記念事業については、一過性で終わらず、今後も継続的に行われる取組となるよう、ご意見を参考に検討してまいりたい。

No.	施策の柱等	事業名	委員意見等	事務局回答
18	施策の柱 5	オランダとの文化交流事業	「ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信」ということにテオ・ヤンセンの企画展がどのように寄与するのかがやや不透明。単なる展示会ではなく、「文化芸術の創造・発信」につながる事業であってほしい。	議事資料での説明が不足したが、「テオ・ヤンセン展」は、東京2020大会を契機に本県がホストタウンとなったオランダ王国との文化交流を深めるための第一歩となる事業である。作品を活用し、千葉の海（砂浜）でイベントも実施することで、新しいアートと千葉の海の魅力を県民に広め、文化芸術の創造・発信に寄与するものである。
19	その他		意見ではないが、千葉県文化会館が休館となっても県内の文化活動が停滞しないよう努めるとともに、令和5年度は千葉県誕生150周年を記念して様々な文化芸術振興事業が実施されるため、関係者全体が連携して取り組んでいく必要があると思う。	-
20			災害時などに心のケアとしてアート・音楽などの表現が効力があると考え。福祉にも携わる表現者（美術・音楽・身体表現などの登録制度を作る。登録アーティストによって日頃より福祉とアート（表現の関わりを持ち多様性を認めあえる社会を創る体制も取りつつ災害からの復興にも力添えできる人材育成の体制を作ることを提案する。	-
21			意見ではなく感想だが、「あらゆる人」が芸術にふれあえるように、というポイントが短期中期両軸でしっかりと盛り込まれていると思う。	-

(2) 令和5年度千葉県文化芸術推進懇談会スケジュール案について

事務局から資料を送付し、委員へ意見照会を行った。

・各委員からの意見・質問等

No.	委員意見等	事務局回答
1	特段の意見はないが、それぞれの事業実施の成果について、どのタイミングかで報告が伺えればと考える。	-
2	懇談会の回数、時期ともに適切であると考え。今年度は会議の機会が少なかったことから、令和5年度に懇談会を開催するにあたっては、令和4年度までの取組や成果、課題等を丁寧に説明いただけると助かる。	-